

[資料紹介] 鈴木正治の絵画作品 (○△□・りんご)

中村理香¹⁾

Introduction of Works of Art By Masaharu Suzuki: Depiction of ○△□ & Apple NAKAMURA Rika

キーワード：鈴木正治、○△□、りんご

1 はじめに

鈴木正治（1919～2008 年）は、青森市出身の彫刻家である。生涯にわたって彫刻だけでなく様々な技法で制作活動を行ってきた。経歴等詳細については当館主催で開催した 2004 年特別展「鈴木正治展」、2015 年「寄贈記念 齋藤葵和子コレクション鈴木正治作品展」の展示図録を参照されたい。

平成 26 年 1 月、青森市在住で長年にわたり鈴木正治の創作活動を支援し、作品を収集してきた齋藤葵和子氏から、作品約 2 千点が当館に寄贈された。それらについて技法・形態別に整理作業を続けてきた。しかし、鈴木正治が制作してきた各テーマの作品が様々な技法・形態にまたがっているため、今後の検索・活用をしやすいするために、令和 3 年度からテーマ毎にも制作動機や背景、表現方法等について調査・分析しながら整理することとした。テーマの中で最も多く制作され、鈴木の代表作とされる「ウゴカズ」「誕生」の絵画作品については研究紀要第 46 号に、「ねぶた」について、またねぶたを含む「春夏秋冬」については研究紀要第 47 号に、「山・十和田湖」「後藤伍長」については、研究紀要第 48 号に紹介した。今回は「○△□」と「りんご」をテーマにした作品を紹介する。今後の鈴木正治作品の研究及び当館収蔵作品の活用の一助になれば幸いである。

多くの作品を寄贈してくださった齋藤葵和子氏の御厚意に深く敬意を表し、感謝するものである。

2 テーマ「○△□」について

○△□は鈴木正治が制作してきた作品テーマの一つである。○△□を制作することになった動機について、中村徹著 美術研究「彫刻家鈴木正治 研究～サム・フランシスと仙厓から学んだもの～草稿Ⅱ」（2014 年 4 月 29 日）を参照すると、「南画廊展覧会（1962 年 4.9～4.21）前後に鈴木はいろいろな展覧会を観ている。その中で鈴木を惹きつけた展覧会が、サム・フランシス展と仙厓展である。九州・博多聖福寺の第二百二十三世の住職として、また臨済宗・古月派を代表する禅僧としても名高い仙厓（1750～1837）は、晩年、数多くの『禅画』を描いたことで有名である。その生き方は、仙厓の作品とともに鈴木に感銘を与えている。仙厓の無の境地が鈴木に心に響いた。その仙厓作品の中でも特に鈴木が惹かれたのが、『○△□扶桑最初禅窟』作品である。この作品は、その後の鈴木制作に大きな影響を与えており、青森県総合社会教育センターの石彫『わ』は○△□の組合せでできており、岩手町の石彫『地球の子』の入り口部分は○△□に彫り分けられている。」²⁾とある。仙厓が描いた○△□については、出光美術館の解説によると「『○』『△』『□』という図形のみを描いたシンプルな図。左端には『扶桑最初禅窟（日本最古の禅寺）』聖福寺の仙厓が描いたとする落款を記すのみで、画中に作品解釈の手がかりとなる賛文がなく、仙厓禅画のなかでは最も難解な作品とされます。『○』が象徴する満月のように円満な悟道の境地に至る修行の階梯を図示したとも、この世の存在すべてを 3 つの図形に代表させ、『大宇宙』を小画面に凝縮させたともいわれ、その解釈には諸説があります。」³⁾とある。鈴木作品は仙厓作品にインスパイアされながら、○△□そのものを表現している作品もあるが、ただ並べて描いているものよりも○△□を組み合わせたり重ねたりして描かれているものが多い。○△□の中に鈴木が好んで描いた麻の葉や紗綾形の模様や、雪、波、魚、カモメなどを描いているものもある。また、りんごの実や花、角巻などと組み合わせ描いている作品もあり、鈴木が独自にデザインしたものになっている。画材は墨を用いており、線の太さや墨の濃淡、にじみを効果的に使って表現されている。

美術手帖「仙厓のすべて」の中で、「仙厓の『禅画』は、『匡画無法（仙厓の絵には決まった法などない）』の精神に基づいた、極めてユーモラスかつ自由奔放な作品で、斬新な表現や大胆なデフォルメにより、現代の私たちが見ても『楽しくて、かわいい』と感じる不思議な魅力に満ちあふれている。」⁴⁾と評されている。一方「鈴木墨絵は、大胆にデフォルメされたユニークな図柄と濃淡をにじませたシンプルな線や独特な模様が綿密に描かれており、抽象的でユーモラスな世界をかもし出し、ほんのりとしたぬくもりをそっと包み込むようなやさしさに満ちている。」⁵⁾と評されているとおり、観るものの気持ちをほっこりさせ親しみを感じさせる。その作風や評価についても仙厓の作品に

¹⁾ 青森県立郷土館 主任学芸主査（〒030-0802 青森市本町二丁目 8-14）

通じるものがあるようだ。

3 テーマ「りんご」について

りんごは青森県を代表する作物である。鈴木は、角巻、ねぶたといった郷土に根ざしたテーマを多く制作しているが、りんごもその一つである。りんごのすべてをモチーフとしている。中でも多く描かれているのはりんごの実である。りんごの実とともにこぎん刺しの模様や麻の葉の模様が描かれているものがある。りんごの実をまるごと描いているものが多いが、りんごの切りみを描いているものもある。また、りんごの断面を描いているものや、実の輪郭を描かず断面の芯の部分だけを星形に表現しているものもある。りんごの花を多数組み合わせ全体でりんごの実の形を描いている作品もある。りんご樹はアルファベットのYのような形や、Yの文字の上の枝の部分をくりと一回転ねじった独特の形で描かれている。枝を立体的に描いたものもあり、同じような形状の木彫作品もある。りんご樹をたくさん描いてりんご畑を表しているものもある。

「りんごの5」という題で、りんごを5という数に着目して描かれた作品もある。「りんごの花は5弁」、「りんごの実五角」、「りんご樹の木口は五角」と説明も添えられている。

りんごとともに、りんごを収穫するりんご娘も多く描かれている。りんご娘は、麻の葉や紗綾形などの模様のある服を着て、わら靴を履いて描かれている。頭には頬被りをして、デフォルメされた横顔には大きな凸レンズ形の目が描かれている。

りんごの実とりんごの花、りんご樹は、単独で描かれているものもあるが、組み合わせて描かれているものも多い。それらを春夏秋冬の順に組み合わせて「りんごの四季」を表現している作品もある。また、他の果物や生き物、岩木山や弘前城といった津軽の風景などと組み合わせた作品もある。りんごをテーマにした作品もまた、様々な視点からデザイン化されたものになっており、表現が多様で発想の豊かさに驚かされる。

令和元年度に当館のコーナー展示「鈴木正治の世界」をご覧になった齋藤葵和子氏から「りんごりんご」と題して書かれたものをいただいた。これを最後に紹介したい。「私の人生の師、その人は子供のころほっぺたが赤く、『りんご、りんご』とはやされていたと、いつも言うのだった。(中略) 晩年、ある会社社長から、何でもいいから鈴木さんの絵が欲しいと頼まれ、鈴木さんに話したところ、どうしたらいいかわからない、と言う。私も、どうしたものかと考え、いつでも描けるのは…と思いたち、「りんごはどう？りんごなら描けるんじゃない？」と言ったところ、気色満面として「ああ、りんごなら描けるよ！」と言って紙いっぱい、1個のりんごを描いたのだった。一筆書きの力ある青いりんごの大きな絵は、社長宅の居室に飾られたようだ。その頃の鈴木さんは傍目にも少しずつ体力の衰えが見えるようになっていた。『りんご りんご』とはやされていた少年時代を通りすぎて、兵隊にも行き、行軍中に、首をうたれた友もいたり、あらゆる地獄を生きぬいて、ようやくこういうトシになっているのだ。若かった鈴木さんが描いたりんご、立派な会社の社長に何か描いてほしいと、言われて描いたりんご。りんご、りんご、りんごそれぞれの時の思いを纏ってたくさんのりんごの絵が生まれた。薄紅のりんご、イブのりんご、振り返れば私の生きてきた道にも鈴木さんのりんごがその時々色に輝いている。」長い間鈴木に寄り添い、彼が制作するりんごの作品ひとつひとつを間近で見てこられた齋藤葵和子氏ならではの思いの深さが伝わる。

注)

2) 中村徹：美術資料研究家・美術ウォッチャー、御尊父の中村傳三郎（東京国立文化財研究所）は1961年、中央美術協会展で鈴木と出会い第12回中央美術協会展特集「中美」第71号1961年3月号（中央美術学園）に鈴木を紹介した。

3) 出光美術館 HP／仙厓／○△□ (<https://idemitsu-museum.or.jp/collection/sengai/sengai/03.php>)

4) 美術手帖 「仙厓のすべて」出光美術館 2022.09.03 - 10.16 (<https://bijutsutecho.com/exhibitions/10709>)

5) 工藤正義著 「鈴木正治の軌跡 津軽が生んだ魂の造形」166頁 （草雪舎 2014年）

引用・参考文献

青森県立郷土館「鈴木正治展」展示図録 2004年

青森県立郷土館「寄贈記念 齋藤葵和子コレクション 鈴木正治作品選」展示図録 2015年

對馬恵美子著 [資料紹介]鈴木正治の木彫「誕生」「ウゴバズ」 青森県立郷土館 研究紀要 第39号

伊丸岡政彦著 [資料紹介]鈴木正治の空刷り 青森県立郷土館 研究紀要 第40号

工藤正義著 「鈴木正治の軌跡」草雪舎 2014年

凡例

- ・本稿では、2025年2月現在で整理が終了した作品の中から「○△□」「りんご」の図版とデーターを掲載する。
- ・図版の右下にあるデーターは受入番号、資料名、技法、制作年、寸法である。制作年は不明の場合は無記名とし、空欄とする。寸法は、縦×横の順とし、単位はすべてcmである。

【○△□】



2277-1-61
○△□
墨 紙
2003 年
41×33



2277-1-525
○△□
墨 紙 (額装)



2277-1-301
○△□
墨 紙
1995 年
46×35

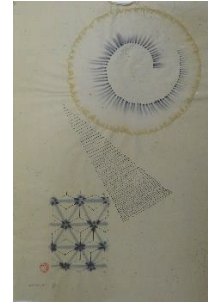


2277-1-302
○△□
墨 紙
1995 年
46×35

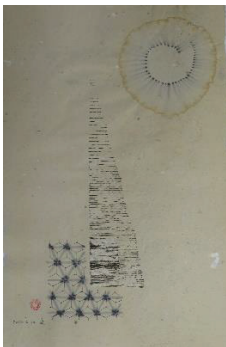


1984 年
26.5×23.5 2 枚
(45.5×73.5)

2277-1-658
○△□
墨 布
65×38



2277-1-672
○△□
墨 紙
2000 年
65×43



2277-1-692
○△□
墨 紙
2000 年
65×43



2277-1-724
○△□
墨 紙
2002 年
30×21



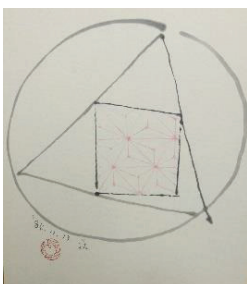
2277-2-62
○△□
墨 紙
1999 年
66×43.5



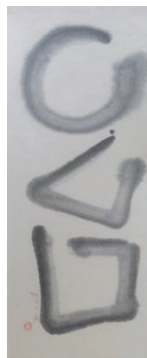
2277-2-128
○△□
墨 紙
(屏風 4 曲の左)
1997 年
111×51(2 枚)
(175×80)



2277-2-129
○△□
墨 紙
(屏風 4 曲の右)
1997 年
111×51(2 枚)
(175×80)



2277-5-260
○△□
墨 絵具 色紙
1984 年
27×24



2277-2-79
○△□
墨 紙
1996 年
85×35.5

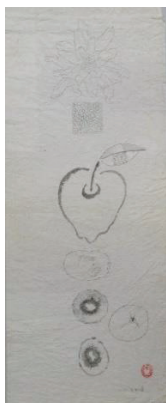


2277-9-28
○△□
墨 布(軸装)
1996 年
47×36.5
(134×54)

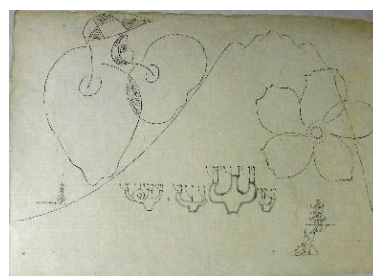
【りんご】



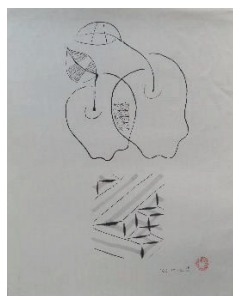
2277-1-18
りんご娘
墨 紙
1984 年
40×30



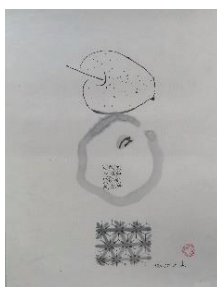
2277-1-38
りんご
墨 紙
2000 年
64×25



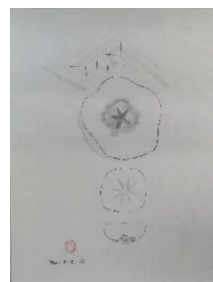
2277-1-124
りんごと
岩木山
墨 紙
28.8×39.3



2277-1-131
りんごと
こぎん
墨 紙
1996 年
46×36



2277-1-133
りんごと
こぎん
墨 紙
1996 年
46×36



2277-1-134
りんごと
かき
墨 紙
1996 年
46×36



2277-1-201
りんごとこぎん
墨 紙
1996 年
46×36



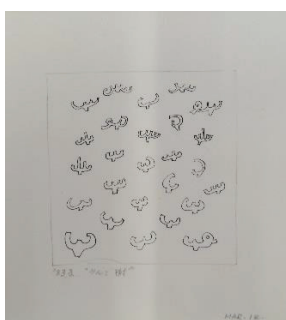
2277-1
-359-6
りんごとこぎん
コンテ 紙
2005 年
17.5×14.5



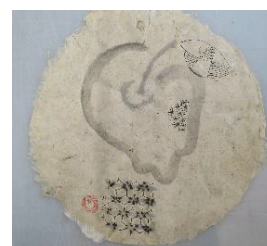
2277-1
-359-7
りんごとこぎん
コンテ 紙
2005 年
17.5×14.5



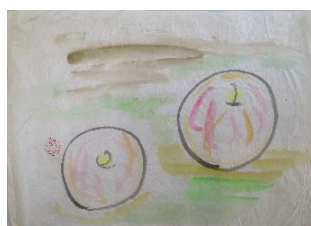
2277-1-370
りんご最中
墨 絵具 紙
19.5×13.5



2277-1-381
りんご樹
ペン 紙
1983 年
11.5×10.5



2277-1-414
りんごと
こぎん
墨 紙
1999 年
28.5×28



2277-1-447
りんごと
みかん
墨 絵具 紙
26×36



2277-1-468
りんご
墨 絵具 紙
34.5×33.8



2277-1-472
エヴの林檎
墨 紙
2004 年
45×35.7



2277-1-473
りんご娘
墨 紙
2004 年
45×35



2277-1-475
りんごと
こぎん
墨 紙
2005 年
45.6×34.9



2277-1-476
りんご娘
墨 紙
2004 年
40.9×31.9



2277-1-477
りんごと
りんご娘
墨 紙
2004 年
41×31.8



2277-1-483
りんご娘と
りんご樹
墨 紙
2004 年
49.8×35.5



2277-1-486
りんご樹
墨 紙
2003 年
27×24.2



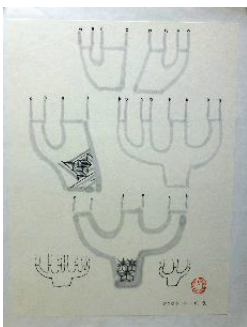
2277-1-487
りんご樹
墨 紙
2002 年
30.3×30.3



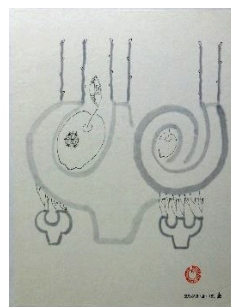
2277-1-488
りんご
墨 紙
2003 年
32×31



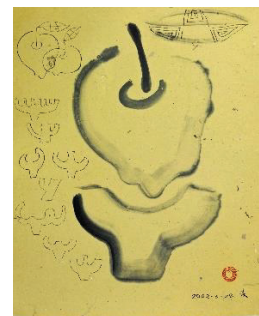
2277-1-491 りんご
ペン 絵具 紙
33.5×34.7



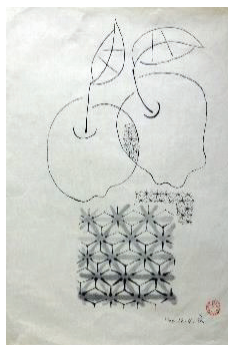
2277-1-493
りんご樹
墨 紙
2003 年
34.8×27



2277-1-494
りんご樹
墨 紙
2003 年
34.8×27



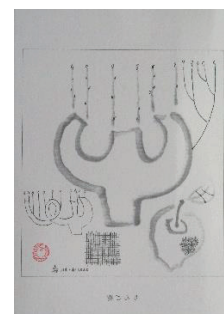
2277-1-495
りんごと
りんご樹
墨 紙
2002 年
44.8×35



2277-1-496
りんごと
こぎん
墨 紙
1996 年
45.6×34.9



2277-1-523
りんご
墨 紙(額装)
72×53.5
(94×75)



2277-1
-533-3
りんご樹
墨 紙(額装)
2001 年
14×9.5
(26×75)



2277-1-549-1 りんご
墨 紙 (マット装)
30×40



2277-1-559
りんご娘
墨 紙
(額装)
1995 年
14.5×9
(34×27.5)



2277-1-561
りんごと
ぶどう
色鉛筆 紙
(額装)
1998 年
27×21
(44×36)



2277-1-563
りんごと
岩木山
墨 紙
(額装)
1992 年
26.5×23
(30×26)



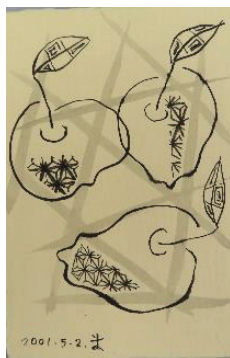
2277-1-581
りんごとりんご樹
ペン 絵具 紙 (額装)
1981 年
直径 5.5(直径 13)



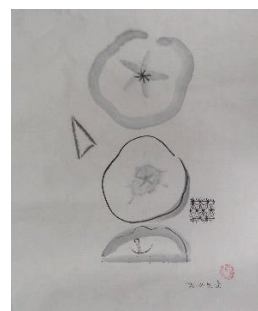
2277-1-584
りんご樹
ペン 絵具 紙
(額装)
1982 年
直径 8.5
(直径 13)



2277-1-591
りんごと
ハス
墨 紙
2005 年
70×60



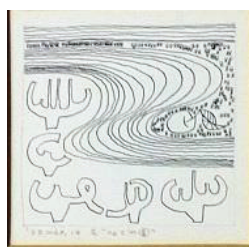
2277-1-619
りんご
墨 紙
2001 年
15×10



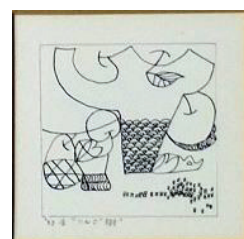
2277-1-660
りんご
墨 紙
1996 年
47×36



2277-2-14-1
りんご
ペン 紙
1983 年
11.2×10.4



2277-2-14-2
りんご樹
ペン 紙
1983 年
11.2×10.4



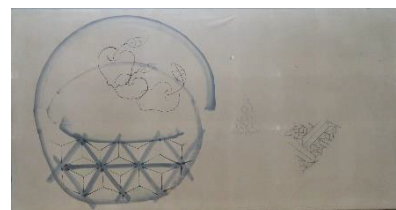
2277-2-14-3
りんご樹
ペン 紙
1983 年
11.2×10.4



2277-2-14-4
りんご
ペン 紙
1983 年
11.2×10.4



2277-2-22
りんご樹
墨 紙
(パネル装)
99.5×65



2277-2-33
りんごとこぎん
墨 紙(パネル装)
70×136



2277-2-34 りんご樹
墨 紙(パネル装) 70×136



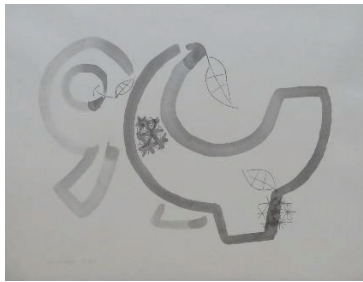
2277-2-36 りんご
墨 紙(パネル装) 70×136



2277-2-43 りんご樹
墨 紙(パネル装)1994年 70×136



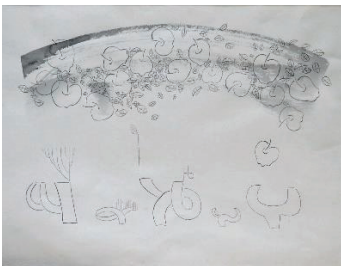
2277-2-46 りんご
墨 絵具 紙
(額装)
1982年
43.5×29.5
(66.5×52.8)



2277-2-59 りんご樹(冬)
墨 紙 50.2×65



2277-2-66 りんご
墨 絵具 紙
1994年 57×75.7



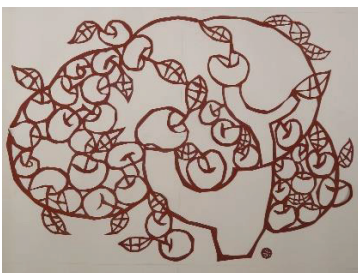
2277-2-89 りんご りんご樹
墨 紙 54.5×78.7



2277-2-93 りんご りんご樹
墨 絵具 紙 69.5×90



2277-2-94 台風 13 号
墨 絵具 紙
1994年
63×43.5



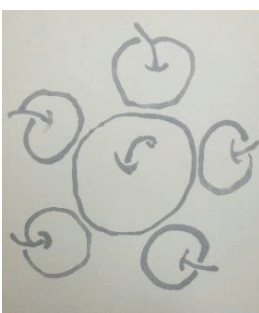
2277-2-111 りんご りんご樹
切り絵 紙 129×78.5



2277-2-124 りんご樹
墨 紙
(パネル装)
2002年
99.5×65



2277-2-142 りんご娘
墨 紙
(パネル装)
2002年
188×97



2277-5-1 りんご
墨 色紙
27×24



2277-5-2 りんご樹
墨 色紙
27×24



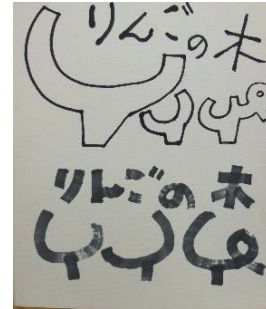
2277-5-3 りんご樹
墨 色紙
27×24



2277-5-4
りんご樹
墨 色紙
27×24



2277-5-5
りんご
墨 色紙
27×24



2277-5-6
りんごの
木
墨 色紙
27×24



2277-5-7
りんご
墨 色紙
27×24



2277-5-8
りんご
墨 色紙
27×24



2277-5-11
りんご
墨 絵具 色紙
1982 年
27×24



2277-5-12
りんご娘
墨 色紙
1999 年
27×24



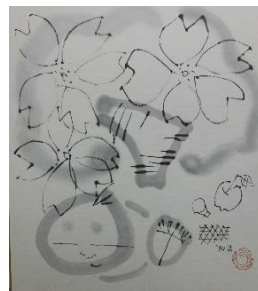
2277-5-13
りんご樹
墨 色紙
1983 年
27×24



2277-5-14
りんご
墨 絵具
色紙
1981 年
27×24



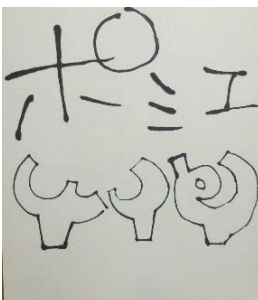
2277-5-15
りんご
墨 絵具 色紙
27×24



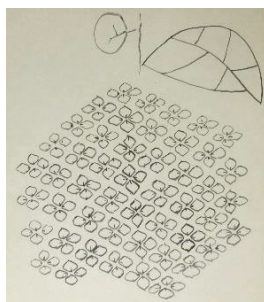
2277-5-87
りんご
墨 色紙
1994 年
27×24



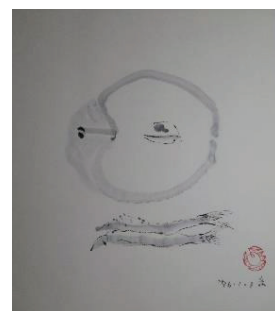
2277-5-263
りんご
墨 色紙
27×24



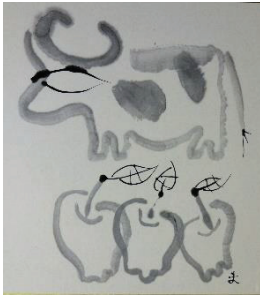
2277-5-299
りんご樹
墨 色紙
27×24



2277-5-300
りんご
墨 色紙
27×24



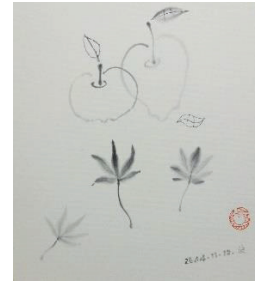
2277-5-330
りんごと魚
墨 色紙
1996 年
27×24



2277-5-351
牛とりんご
墨 色紙
27×24



2277-5-371
りんごと
紅葉
墨 色紙
2004 年
27×24



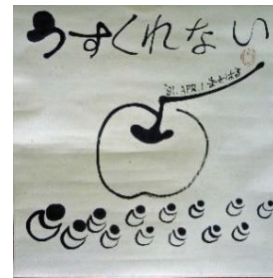
2277-5-372
りんごと
紅葉
墨 色紙
2004 年
27×24



2277-5-387
りんご
セロファン色紙
27×24



2277-9-8 りんご
墨 布 (軸装)
48.5×71.5(134.5×91.5)



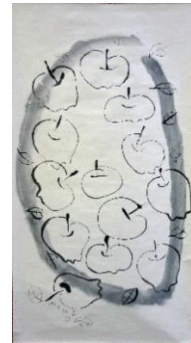
2277-9-25
うすくれない
墨 紙
(軸装)
1981 年
33.5×34.3
(93.9×50.5)



2277-9-29
日出請合
墨 淡彩 紙
(軸装)
1983 年
45×34.5
(130×50.7)



2277-9-32
角巻と
りんご
墨 紙
(軸装)
1993 年
136.5×79
(200×90)



2277-9-39
りんご
墨 紙
(軸装)
1993 年
137×70
(199.5×90.5)



2277-9-46
りんご樹
墨 紙
(軸装)
1993 年
74.5×51
(161×69)



2277-9-60
りんご
墨 布
(軸装)
1996 年
56×37
(145×56.5)



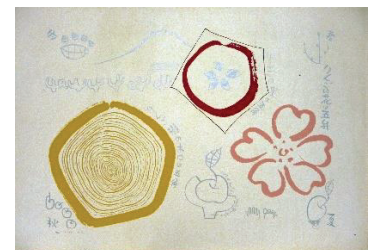
2277-9-79
りんご
墨 紙
(軸装)
1993 年
69.5×51.5
(156×69.5)



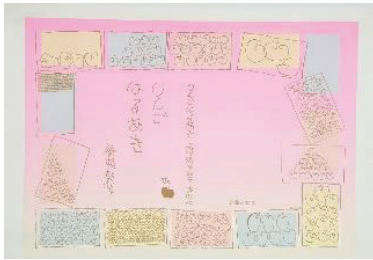
2277-12-6 りんご
シルクスクリーン 紙 (額装)
1992 年 52.7×75.5(79.5×101)



2277-12-8 りんご樹
シルクスクリーン 紙
1982 年 50.3×65



2277-12-9 りんごの5
シルクスクリーン 紙
1985 年 54.4×79



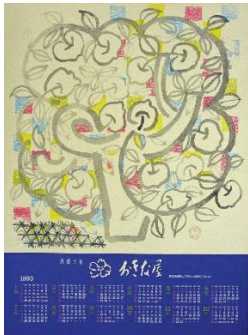
2277-12-11 りんごはるあき
シルクスクリーン 紙
1985年 39×54.2



2277-12-16 りんご娘
シルクスクリーン 紙(額装)
1984年 18.5×29(42×53)



2277-12-27 りんごと
ぶどう
シルク
スクリーン
紙(額装)
1987年
65.2×50.4
(86×73)



2277-12-40-1
りんご
(カレンダー)
シルク
スクリーン
印刷 紙
1983年
64×50



2277-13-16
春を待つ
りんご樹
銅版画 紙
(額装)
19.4×15.6
(42×34)



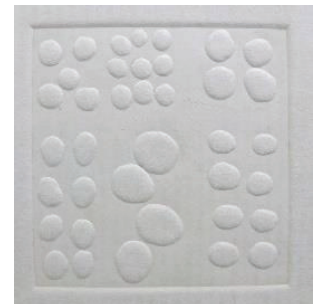
2277-14-13
りんご樹
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-14
箱の中の
りんご
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-25
りんご樹
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-38
青森駅前のりんご
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-42
りんご岩木山
城 桜
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-58
りんご樹
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-59
りんご樹 エンボス
紙 6.3×6.3



2277-14-64
りんご樹
エンボス 紙
6.3×6.3



2277-14-65
りんご
エンボス 紙
6.3×6.3